
第1章 小城市の特性と課題

1. 小城市の概要

(1) 位置・沿革

位置・地勢

- ・ 小城市は佐賀県のほぼ中央に位置し、北と東は県都佐賀市に、西は多久市・江北町、南は白石町と接しています。
- ・ 市の総面積は95.85k㎡で、県土の約4%を占めています。
- ・ 市域の北部には天山山系の山々が連なり、中央部には広大で肥沃な佐賀平野が広がり、南部は日本一の干潟を有する有明海に面しています。
- ・ 主な河川として、東部に嘉瀬川水系、西部に六角川水系が南北に流れており、両河川に挟まれた平野に広大な農地が広がるとともに、各庁舎周辺に市街地が形成されています。

沿革

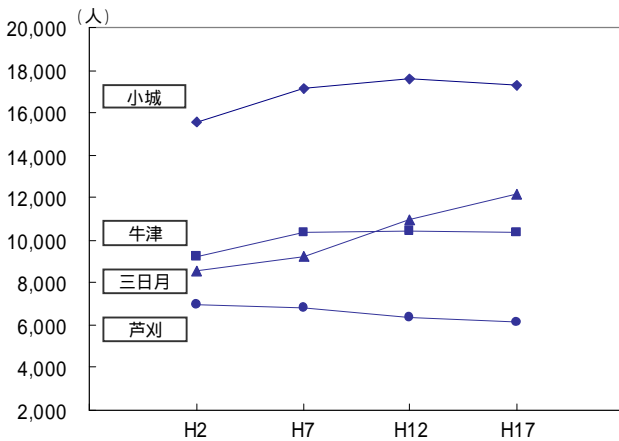
- ・ 明治13年(1880年)区町村会法により戸長役場がおかれ、明治22年(1889年)町村制施行により戸長役場の管轄区域をほぼ受け継いで、小城町・牛津村(町)・岩松村・晴田村・三里村・三日月村・砥川村・芦刈村がおかれました。
- ・ 昭和7年小城町・岩松村・晴田村・三里村が合併して小城町、昭和31年牛津町・砥川村が合併して牛津町、昭和42年芦刈村は町制施行により芦刈町、昭和44年三日月村は町制施行により三日月町となりました。
- ・ 平成17年3月1日に、小城町・牛津町・三日月町・芦刈町の4町が合併し、現在の小城市が誕生しました。
- ・ 小城地区は、鎌倉・室町時代に千葉城を中心とした中世都市を経て、江戸時代に小城鍋島藩の城下町として栄え、現在のJR小城駅北周辺に市街地が形成されました。
- ・ 牛津地区は、江戸時代、長崎街道の宿場町として賑わうとともに、牛津川の港町として“西の浪花”と呼ばれるほど繁栄していました。
- ・ 三日月地区は、弥生時代の土生遺跡を中心に大陸との交流が盛んで、周辺のまちの米どころでした。
- ・ 芦刈地区は、鎌倉時代後半からの干拓により農漁業のまちとして栄えました。

(2) 人口

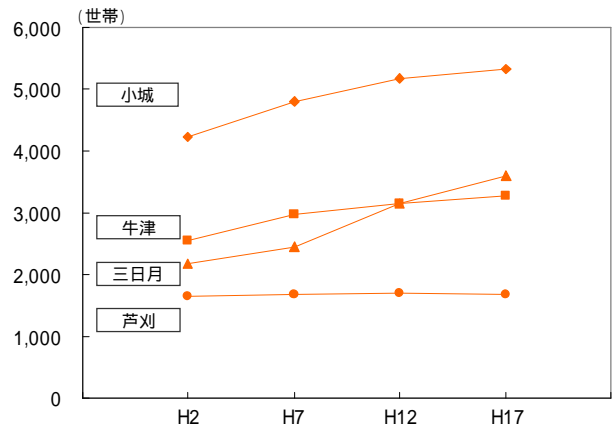
人口及び世帯数の動向

- ・平成7～17年の過去10年間に於いて、小城市全体の人口は5.4%増加しています。各地区では、小城・牛津地区が微増、三日月地区が31.5%増加、芦刈地区が10%減少しています。
- ・過去5年間の人口動向をみると、小城地区、牛津地区、芦刈地区は減少し、三日月地区は、唯一人口増加が続いています。
- ・平成7～17年の過去10年間に於いて、小城市全体の世帯数は16.7%増加しています。
- ・地区別に世帯数の動向をみると、芦刈地区がほぼ横ばいであるのに対し、他の3地区は増加傾向が続いており、特に三日月地区は、平成7年以降、急激な世帯数の増加が続いています。

地区別人口動向図 (H2～H17)



地区別世帯動向図 (H2～H17)



地区別人口動向 (H2～H17)

(単位:人)

	H.2	H.7	H.12	H.17	H7-12 増減率 (%)	H12-17 増減率 (%)	過去10年間 (H7-17) 増減率 (%)
小城市全域	40,283	43,491	45,375	45,852	4.3	1.1	5.4
小城地区	15,564	17,133	17,582	17,254	2.6	1.9	0.7
牛津地区	9,226	10,335	10,454	10,346	1.2	1.0	0.1
三日月地区	8,533	9,230	10,960	12,141	18.7	10.8	31.5
芦刈地区	6,960	6,793	6,379	6,111	6.1	4.2	10.0
都市計画区域	24,790	27,468	28,036	27,600	2.1	1.6	0.5
都市計画区域外	15,493	16,023	17,339	18,252	8.2	5.3	13.9

資料: 国勢調査 (H2～H17)

地区別世帯動向 (H2～H17)

(単位:世帯)

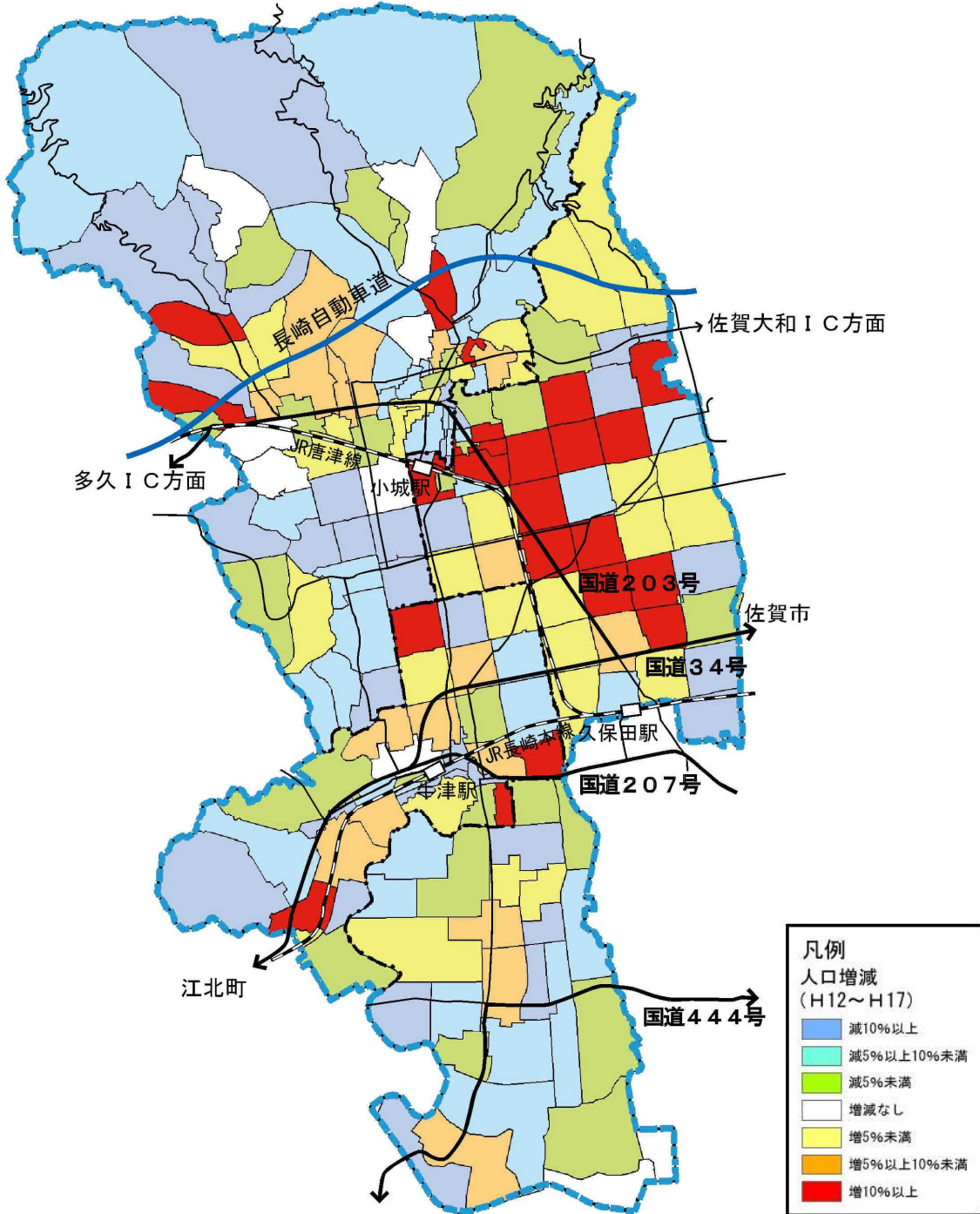
	H.2	H.7	H.12	H.17	H7-12 増減率 (%)	H12-17 増減率 (%)	過去10年間 (H7-17) 増減率 (%)
小城市全域	10,603	11,903	13,195	13,892	10.9	5.3	16.7
小城地区	4,217	4,791	5,181	5,330	8.1	2.9	11.3
牛津地区	2,553	2,979	3,159	3,273	6.0	3.6	9.9
三日月地区	2,182	2,456	3,162	3,611	28.7	14.2	47.0
芦刈地区	1,651	1,677	1,693	1,678	1.0	0.9	0.1
都市計画区域	6,770	7,770	8,340	8,603	7.3	3.2	10.7
都市計画区域外	3,833	4,133	4,855	5,289	17.5	8.9	28.0

資料: 国勢調査 (H2～H17)

詳細地区別人口動向

- ・ 平成12～17年の過去5年間において、人口増加傾向にある三日月地区の中においても特に、国道203号や国道34号沿いを中心に、10%以上の増加地区が集中しています。
- ・ JR小城駅北の市街地や、JR牛津駅周辺の市街地では、5%以上の人口減少がある地区もみられ、人口の郊外移動が進んでいます。

詳細地区別人口増減図（H12～H17）



(平成18年度小城市都市計画基礎調査より作成)

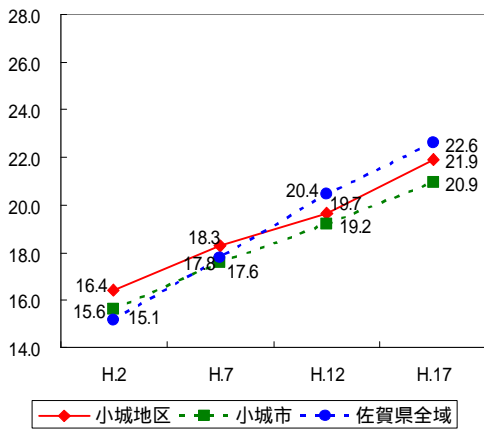
高齢化の動向

- ・ 小城市全体での高齢化率は、平成 17 年に 20.9%と、佐賀県平均（22.6%）と比較すると低く、比較的若い世代の多い都市であるといえます。
- ・ 地区別にみると、平成 2 年には、いずれの地区も高齢化率は 15%前後であったものが、その後、小城地区、芦刈地区では市平均より高齢化が進み、平成 17 年には小城地区が 21.9%、芦刈地区が 26.3%となっており、特に芦刈地区は平成 7 年以降、県平均を大きく上回るスピードで高齢化が進んでいます。
- ・ 牛津地区及び三日月地区は、県・市平均よりも高齢化率は低く、平成 17 年には牛津地区が 19.8%、三日月地区が 17.9%となっており、特に三日月地区では、平成 7 年から平成 17 年にかけてほぼ横ばいであり、若い世代の流入が多いことがわかります。

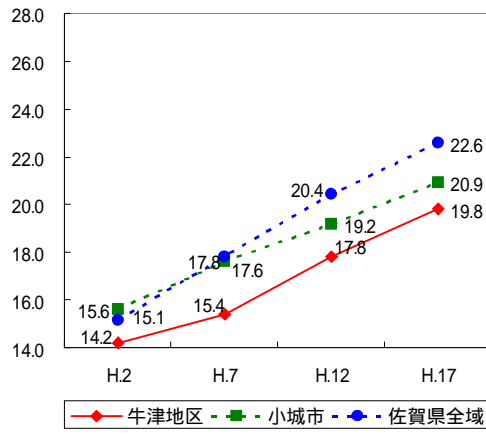
地区別高齢化率動向（H2～H17）（単位：%）

	H.2	H.7	H.12	H.17
小城市全域	15.6	17.6	19.2	20.9
小城地区	16.4	18.3	19.7	21.9
牛津地区	14.2	15.4	17.8	19.8
三日月地区	15.2	17.9	17.6	17.9
芦刈地区	16.2	19.0	23.0	26.3
佐賀県全域	15.1	17.8	20.4	22.6

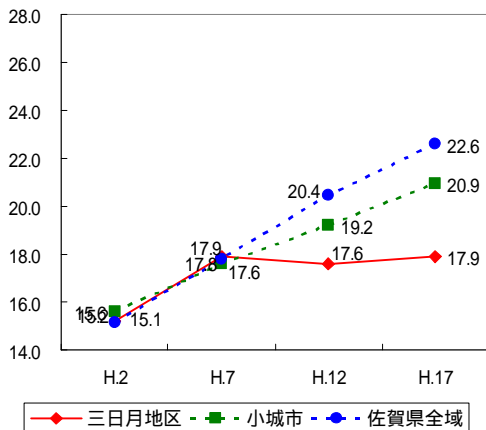
資料：国勢調査（H2～H17）



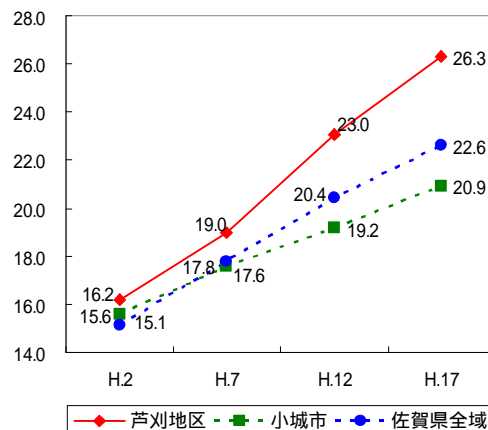
小城地区高齢化率動向（H2～H17）



牛津地区高齢化率動向（H2～H17）



三日月地区高齢化率動向（H2～H17）

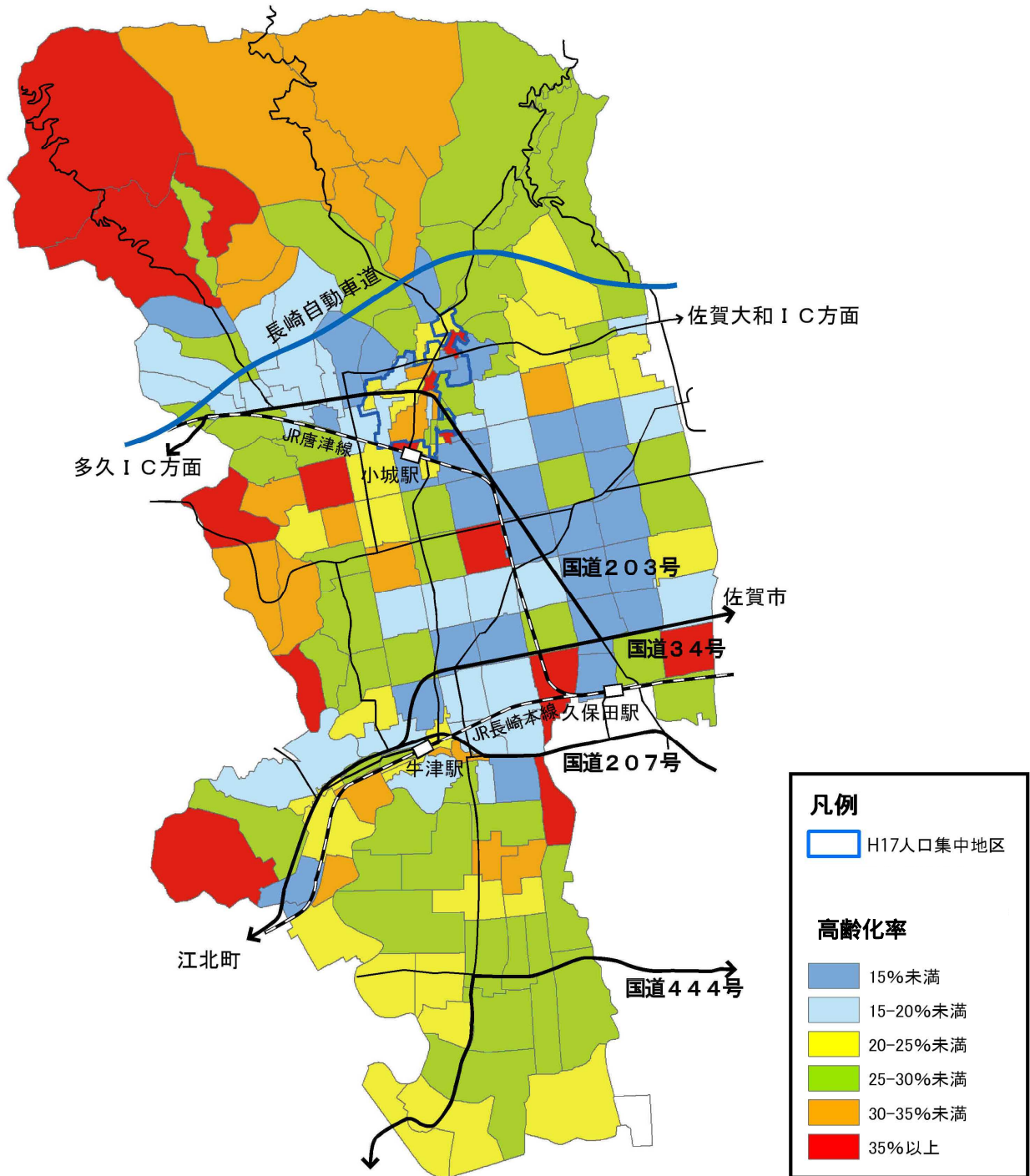


芦刈地区高齢化率動向（H2～H17）

詳細地区別高齢化の状況

- ・ 地区別の高齢化率をみると、小城地区北部の中山間部や、小城地区西部、牛津地区西部等において、特に高齢化率が高くなっています。
- ・ JR小城駅北の市街地は、市内で唯一のDID（人口集中地区）ですが、高齢化率が30%を超える地区もみられるなど、市街地内の高齢化が進んでいます。

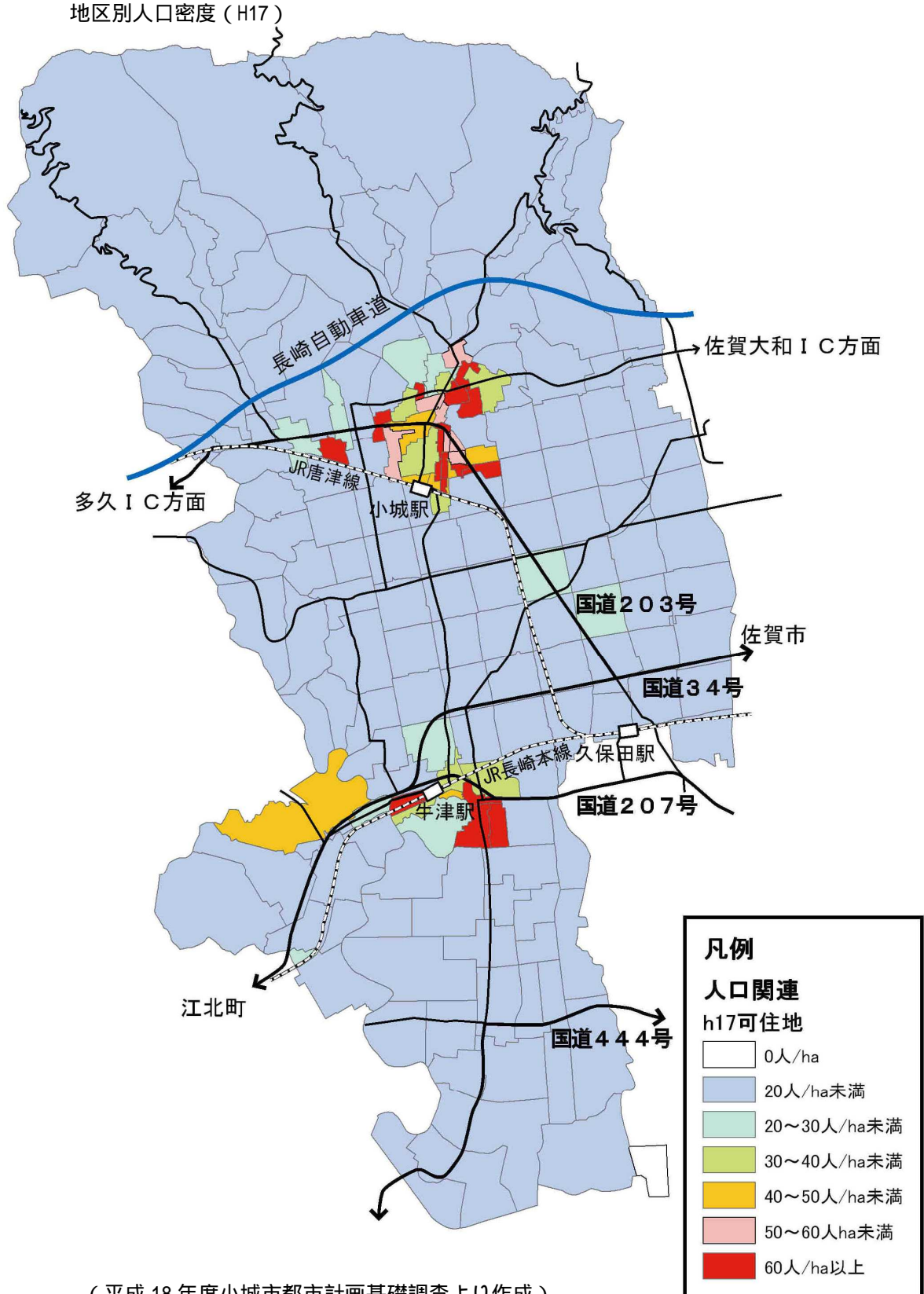
詳細地区別高齢化率図（H17）



（平成18年度小城市都市計画基礎調査より作成）

地区別人口密度

- ・ 本市の大部分は、20人/ha未満が大部分ですが、JR小城駅の北側及びJR牛津駅周辺などに、一定の密度集積が見られます。



(平成18年度小城市都市計画基礎調査より作成)

(3) 産業

就業構造

- ・ 平成17年の本市の就業構造は、3次産業の割合が最も高く、65%を占めています。
- ・ 地区別の就業構造をみると、全地区ともに3次産業が最も高くなっています。次いで、小城・牛津・三日月地区では2次産業が高くなっており、芦刈地区では、1次産業の比率が25.2%と高くなっています。
- ・ 就業比率（昼夜間人口比率）は81.3%で、流出型の都市です。
- ・ 就業人口の推移では、市全体では増加傾向にあるものの、地区別に見ると、三日月地区が増加傾向にあるのに対し、小城・牛津地区では平成12～17年にかけて減少に転じ、芦刈地区では平成2年以降、減少傾向が続いています。

産業別就業者数の推移および構成

(単位:人、%)

	産業分類	H2		H7		H12		H17		H17 就業比率
		就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比	
小城市	1次	3,688	18.8	3,131	14.5	2,704	12.1	2,513	11.1	81.3
	2次	5,464	27.8	5,976	27.7	5,993	26.8	5,369	23.8	
	3次	10,505	53.4	12,458	57.8	13,656	61.1	14,666	65.0	
	計	19,657	100	21,565	100	22,353	100	22,548	100	
小城地区	1次	1,056	14.0	981	11.8	814	9.6	760	9.1	-
	2次	2,092	27.7	2,258	27.1	2,176	25.6	1,912	22.8	
	3次	4,408	58.3	5,091	61.1	5,525	64.9	5,708	68.1	
	計	7,556	100	8,330	100	8,515	100	8,380	100	
牛津地区	1次	621	13.6	511	9.6	458	8.6	399	7.7	-
	2次	1,363	29.9	1,566	29.5	1,493	28.0	1,337	26.0	
	3次	2,568	56.4	3,234	60.9	3,375	63.4	3,416	66.3	
	計	4,552	100.0	5,311	100	5,326	100	5,152	100	
三日月地区	1次	847	20.4	660	14.5	587	11.1	567	9.6	-
	2次	1,162	28.0	1,269	27.9	1,479	28.0	1,414	24.0	
	3次	2,137	51.5	2,623	57.6	3,217	60.9	3,912	66.4	
	計	4,146	100	4,552	100	5,283	100	5,893	100	
芦刈地区	1次	1,164	34.2	979	29.0	845	26.2	787	25.2	-
	2次	847	24.9	883	26.2	845	26.2	706	22.6	
	3次	1,392	40.9	1,510	44.8	1,539	47.7	1,630	52.2	
	計	3,403	100	3,372	100	3,229	100	3,123	100	

就業比率 = 常住地における就業者に対する従業地における就業者の数

(資料:国勢調査)

産業の状況

- ・ 平成13～16年における事業所数の動向では、市全体では約10%の減少にあり、地区別も同様に減少傾向にあります。
- ・ 平成16年の事業所数の分布状況を見ると、小城地区への集積が最も多く全市の34.6%を占めており、次いで牛津地区が27.9%となっています。
- ・ 本市において、主な市街地が形成されているJR小城駅北を中心とする「小城市街地」と、JR牛津駅周辺の「牛津市街地」への事業

所の集積状況は、小城市街地に市全体の 22.0%、牛津市街地へは 9.5%の集積となっており、小城市街地の集積度が高いことがわかります。

- ・ 主な業種別の事業所の分布では、卸売・小売・飲食店やサービス業がどの地区も多く、小城地区が 36.2%、牛津地区が 32.4%とほぼ同じ割合で分布し、金融業やサービス業では小城地区への集積が他地区に比べ最も高くなっています。

事業所数の推移

(単位:件、%)

	事業所数	うち、主な業種別の事業所数												
		建設業		製造業		卸売・小売・飲食店		金融・保険		サービス業				
		H13	H16	H13	H16	H13	H16	H13	H16	H13	H16			
小城市	件数	1,834	1,644	258	238	143	130	722	686	25	23	570	483	
	増加率	0.10		0.08		0.09		0.05		0.08		0.15		
	小城地区	件数	681	569	78	70	33	33	286	248	13	11	238	186
		増加率	0.16		0.10		0.00		0.13		0.15		0.22	
	牛津地区	件数	495	458	50	46	42	37	225	222	6	6	144	124
		増加率	0.07		0.08		0.12		0.01		0.00		0.14	
	三日月地区	件数	412	402	60	58	46	40	140	152	4	5	124	115
		増加率	0.02		0.03		0.13		0.09		0.25		0.07	
	芦刈地区	件数	246	215	70	64	22	20	71	64	2	1	64	58
		増加率	0.13		0.09		0.09		0.10		0.50		0.09	
	小城市街地	件数	427	362	32	27	27	25	191	171	9	8	145	116
		増加率	0.15		0.16		0.07		0.10		0.11		0.20	
	牛津市街地	件数	174	153	9	9	12	10	83	78	2	2	56	46
		増加率	0.12		0.00		0.17		0.06		0.00		0.18	

小城市街地とは、JR小城駅北の市街地(三日月地区の一部を含む)
牛津市街地とは、JR牛津駅周辺の市街地

(資料:事業所企業統計)

地区別・業種別の分布状況 (H16)

(単位:件、%)

	事業所 総数	主な業種別の事業所数						
		建設業	製造業	卸売・ 小売・ 飲食店	金融・ 保険	サービ ス業		
小城市	件数	1,644	238	130	686	23	483	
	割合	100	100	100	100	100	100	
	小城地区	件数	569	70	33	248	11	186
		割合	34.6	29.4	25.4	36.2	47.8	38.5
	牛津地区	件数	458	46	37	222	6	124
		割合	27.9	19.3	28.5	32.4	26.1	25.7
	三日月地区	件数	402	58	40	152	5	115
		割合	24.5	24.4	30.8	22.2	21.7	23.8
	芦刈地区	件数	215	64	20	64	1	58
		割合	13.1	26.9	15.4	9.3	4.3	12.0
	小城市街地	件数	362	27	25	171	8	116
		割合	22.0	11.3	19.2	24.9	34.8	24.0
	牛津市街地	件数	153	9	10	78	2	46
		割合	9.3	3.8	7.7	11.4	8.7	9.5

小城市街地とは、JR小城駅北の市街地(三日月地区の一部を含む)
牛津市街地とは、JR牛津駅周辺の市街地

(資料:H16事業所企業統計)

(4) 日常生活圏

通勤流動

- ・ 日常的な生活圏の広がりや地区間交流の目安として通勤流動状況を比べると、市内4地区とも自地区内での就業率が50%を下回る一方で、佐賀市への流出が20%を越えており、佐賀市のベッドタウン的な都市であることがわかります。
- ・ 市内地区間においても、小城地区と三日月地区が相互に5%以上の流出・流入の関係があり、その他の地区間においても率は低いものの、相互の流出・流入の関係性がみられ、地区間相互に交流しながら、一体の都市としてのまとまりを形成しているといえます。

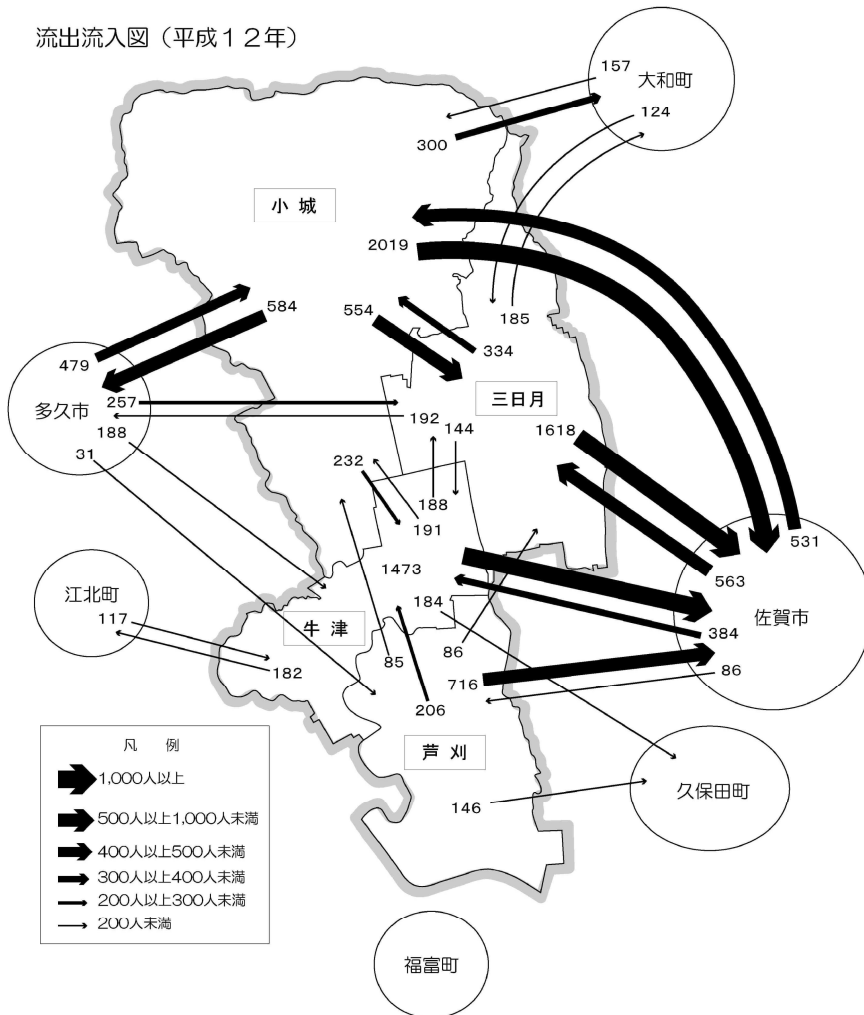
通勤流動 (H12)

(単位:人、%)

都市計画区域	地区名	就業者数	地区内就業率	流出先				
				第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
小城	小城	8,539	43.9%	佐賀市 23.6%	多久市 6.8%	三日月 6.5%	大和町 3.5%	牛津 2.7%
牛津	牛津	5,329	39.8%	佐賀市 27.6%	小城 3.6%	三日月 3.5%	久保田町 3.5%	江北町 3.4%
無	三日月	5,339	38.0%	佐賀市 30.3%	小城 6.3%	多久市 3.6%	大和町 3.5%	牛津 2.7%
無	芦刈	3,237	47.1%	佐賀市 22.1%	牛津 6.4%	久保田町 4.5%	三日月 2.7%	小城 2.6%
小城市全体*		22,444	-					

国勢調査(H12)

流出流入図 (平成12年)



[参考: 通勤流動 (H17) ...合併後の数値のみ公表]

(単位:人、%)

	就業者数	地区内就業率	流出先				
			第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
小城市	22,562	48.3%	佐賀市 31.3%	多久市 4.3%	久保田町 2.1%	江北町 1.6%	唐津市 1.2%

資料 国勢調査(H17)

交通流動（地域間トリップ）

- ・ 平成11年のOD調査結果より、地域間での交通流動状況をみると、最も大きなトリップは小城地区～佐賀市の9,416トリップ、次で三日月地区～佐賀市の8,349トリップ、牛津地区～佐賀市7,062トリップ、小城地区～三日月地区5,057トリップであり、いずれも5,000トリップを超えています。
- ・ 全体的に佐賀市との交通流動が主であり、小城市内では、小城地区～三日月地区間でのつながりが強いのが特徴です。

地域間トリップ（交通流動：H11）

